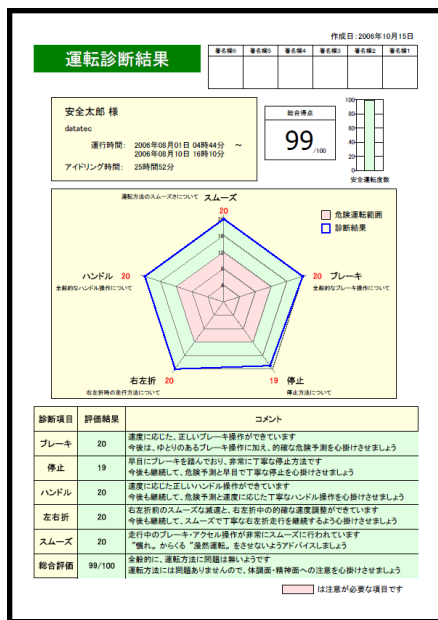


ドライブレコーダシステムのご案内

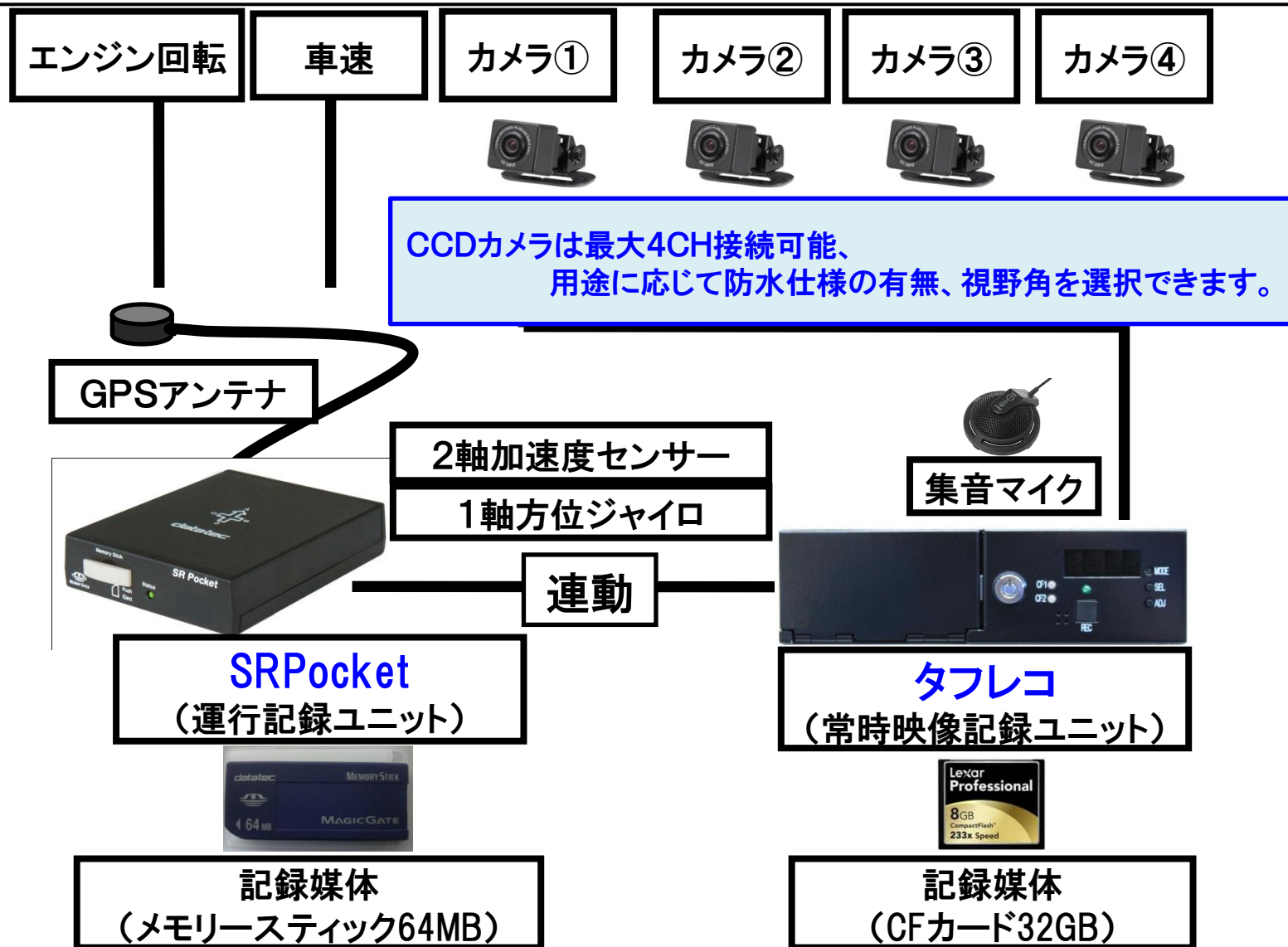
平成23年7月5日



株式会社 データ・テック

1.システムの構成について

運行データと映像データをそれぞれのユニットで記録します



2-1.見るべき映像を車載器がピックアップ

ヒヤリハット(注意挙動/危険挙動)と映像が連動します！！

事故やクレームが無くても車載器が見るべき映像をピックアップ

The screenshot displays the PTView Ver 3.0 software interface. The main window is divided into four quadrants showing different camera views: [画1] (Front), [画2] (Rear), [画3] (Left Side), and [画4] (Right Side). A red speech bubble with the text "呼出し!! (連動)" (Call!! (Link)) points to the [画1] camera view. To the left of the main window is a map and a list of recorded events. Below the map is a button labeled "指導書" (Guidance Book). To the right of the main window is a table of recorded events with columns for date, time, and event type. Below the table is a section for recording details, including "停止中" (Stopped), "記録日" (Recording Date), "記録時間" (Recording Time), "フレーム" (Frame), "再生速度" (Playback Speed), and "車両番号" (Vehicle Number). At the bottom of the interface are playback controls, including a play button, a stop button, a speed slider, and a volume slider.

映像記録装置 再生ソフトウェア PTView Ver 3.0
ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

記録日時

記録日時	記録時間	記録内容
2010年12月09日	13時38分	
2010年12月09日	13時46分	
2010年12月09日	13時50分	
2010年12月09日	13時51分	
2010年12月09日	14時13分	
2010年12月09日	14時19分	
2010年12月09日	14時20分	
2010年12月09日	14時34分	
2010年12月09日	14時39分	
2010年12月09日	14時47分	
2010年12月09日	14時57分	
2010年12月09日	15時07分	
2010年12月09日	15時35分	

停止中
記録日 2010/12/09
記録時間 15:08:42
フレーム 1382/18007
再生速度 常速
車両番号 1722

指導書

ヒヤリハット(注意挙動/危険挙動)に至る経緯や運転操作を
シッカリと確認できます。

2-2.ヒヤリハットが無くてきめ細かくチェック

ヒヤリハットがなくても車内に生じた衝撃を確認できます

映像データには常に10Hz(1秒間に10回)の頻度で
車内に生じた衝撃の大きさを記録します。



ヒヤリハットに合致しないような軽微な車内事故の際にも、
車内にどんな衝撃が発生したか、きめ細かくチェックできます。

2-3.セーフティレコーダのデータと連動

セーフティレコーダの様々なデータと連動します。



セーフティレコーダの様々なデータと連動するので、
「気になる運転操作」を確実にチェックできます。

3-1.(参考)画角の違いによる映像比較①

視野角46°



視野角72°



視野角85°



視野角110°



視野角118°



3-2.(参考)画角の違いによる映像比較②

視野角46°



視野角72°



視野角85°



視野角110°



視野角118°



3-3.(参考)画角の違いによる映像比較③

視野角46°



視野角72°



視野角85°



視野角110°

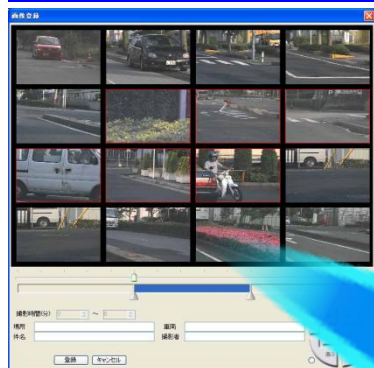


視野角118°

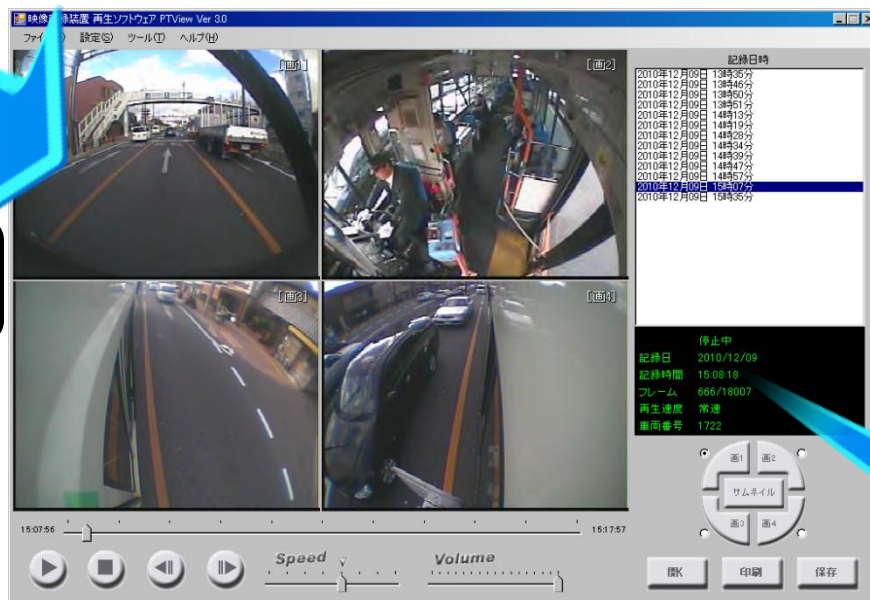


4.その他映像の活用機能

映像の活用機能のご紹介



映像指定取込み



ズーム機能



モザイク処理

静止画保存、動画のAVI変換、印刷、モザイク編集機能

5.映像のセキュリティ機能

①運行のデータは暗号化され、専用ソフトでのみ解析可能

②映像記録装置のカード挿入口は施錠できます



③映像データは再生ソフトでパスワード入力しなければ閲覧不可

④必要に応じて、映像データのモザイク処理を行うことができます

